

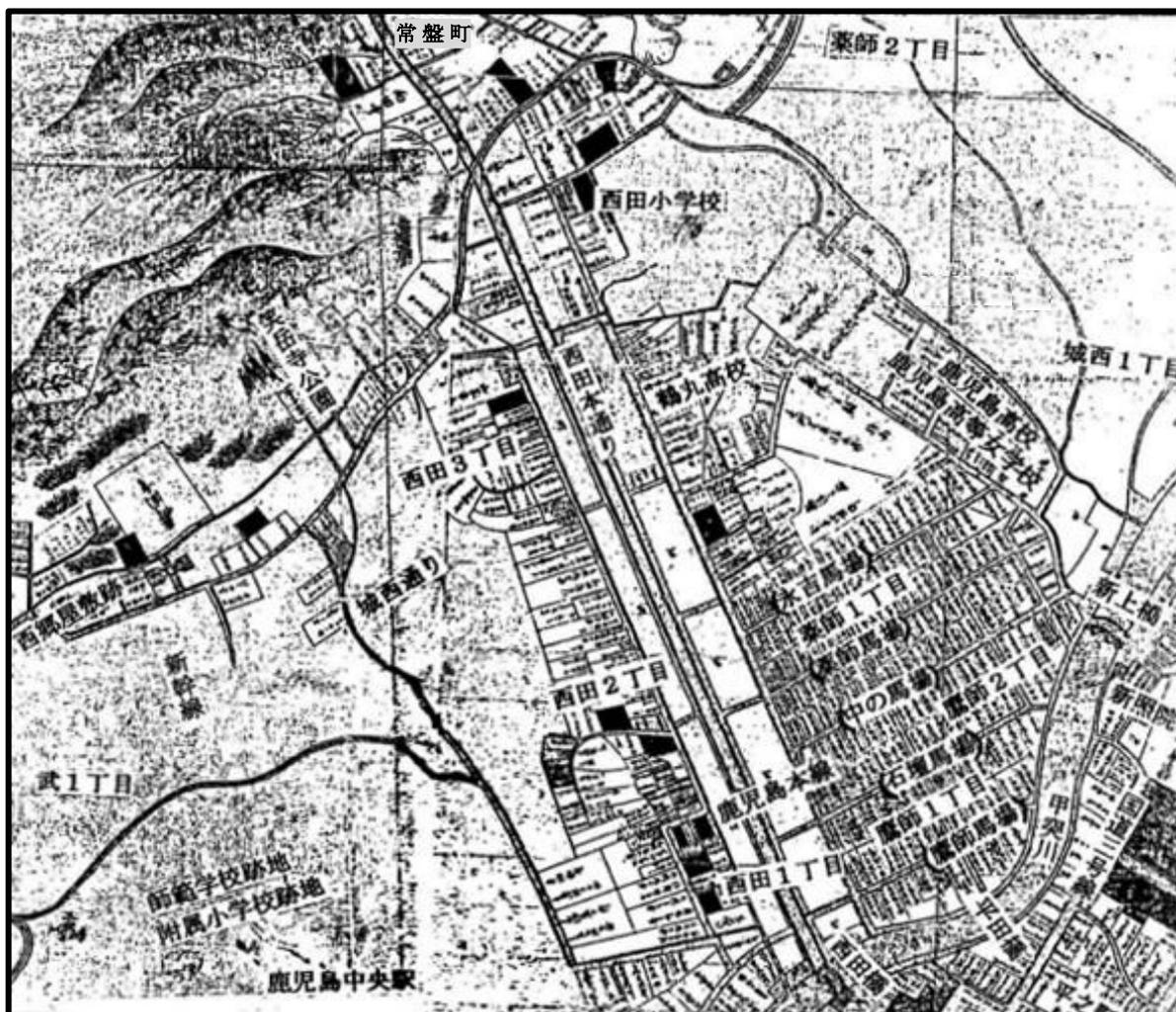
西田校区まちづくりプラン

第2期 2024年度～2028年度
(令和6年度～令和10年度)

【西田校区まちづくり協議会：スローガン】

みんなが協力

温もりと安心の 文化薫るまち 西田



(地図は西田校区郷土史誌(西田校区公民館運営審議会)より)

西田校区まちづくり協議会

目次

1	はじめに	1
2	まちづくりプラン策定のねらい	2
3	西田校区の概要	
	（1）校区の地図	3
	（2）校区の風景・行事	4
	（3）町名の由来	6
	（4）校区人口の推移	9
4	各部の現状と課題	10
5	第1期西田校区まちづくりプランの振り返り等	13
6	西田校区まちづくりの目標	17
7	活動の体系表	18
8	第2期西田校区まちづくりプラン	19
9	第2期西田校区まちづくり協議会の組織体系図	27

1 はじめに

第2期西田校区まちづくりプランの発行にあたって

西田校区まちづくり協議会 会長 堀内 英俊

令和元年にスタートした第1期まちづくりプラン（令和元年度～令和5年度）であったが、途中の3年間は新型コロナウイルス蔓延のため、ほとんどのイベントが規制の中で十分な活動ができなかった。最終年度の令和5年度になってようやく制限が緩和され、少しずつ戻りつつある。気を取り直して第2期のプランを考えることとなった。

直近の1年間で、ますます地域を中心とした協働活動の重要性が言われだしており、責任の重さを感じる今日この頃である。中でも、新たに「コミュニティ・スクール（CS）」や「チームオレンジ」の活動が開始されている。

（注）

・「コミュニティ・スクール（CS）」とは、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた地域と学校の協働活動」のこと

・「チームオレンジ」活動とは、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会を実現するための支援活動」のこと

これらの社会の変化を背景に、それぞれの分野で活動する構成団体と連携を図り、地域の実情に応じた活動を行うことにより、少しでも皆さんが

「みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち」と感じてもらえるようなまちづくりに精進していきたいと考えております。

今後とも協議会活動にご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

2 まちづくりプラン策定のねらい

「まちづくりプラン」とは、少子高齢化や核家族化が進展する社会において、私たちが住む西田校区の地域課題を解決したり、文化や歴史などの地域資源を活用したりして、新しいまちづくりに取り組んでいくための具体的な計画のことです。

西田校区の各種団体が連携しながら5か年計画で取り組んでまいります。



(写真は、平成29年3月12日(日)西田校区まちづくり協議会設立大会でのファンファーレ披露の様子です。)

3 西田校区の概要

(1) 校区の地図 (航空写真)

(白線は、常盤町、常盤一・二丁目、西田一・二・三丁目、薬師一・二丁目、城西一丁目、鷹師一・二丁目の外周部を示しています。常盤町の一部は西田小校区外となります。)



(2) 校区の風景・行事

☆古い歴史を持つ西田校区には、多くの史跡等があります。



薩英戦争本陣跡



歌人税所敦子宅跡

☆主催・共催等の校区の行事



校区民大運動会



校区文化祭



セゴドンノエンコ



健康講話



西田っ子まつり（体育館）



西田っ子まつり（中庭）



西田っ子まつり（給食室横）



もっと知ろうよ郷土の歴史



ふれあい交流大会



子育てサロンにしだ

(3) 町名の由来

平成19年発行の西田校区郷土史誌(西田校区公民館運営審議会)から転記します。

西田小学校区内には6つの町内会があるが、その源泉をたどれば江戸時代の西田方限(ニシダホウギリ)にみられる。江戸時代の西田方限は、北から永吉の一部、原良、鷹師、薬師、西田、常盤、武の北側までの広い地域にまたがっている。[西田方限とは、藩政時代の行政区画割(門割制度)の呼び方であり、「郷中」(ごちゅう)とも称した。]

○西田

ここは鹿児島城下の西側にあり、広い田んぼが広がっていたところである。このことから「西の田」と呼ばれ「西田」になったもので、このことが「西田町」の名前のもとになった。

明治22年に鹿児島市が生まれたとき、ほとんどのところは「○○町」とか「○○馬場町」とかの呼び名になったが、ここは「西田村」のままであった。鹿児島市では、西田村のほかに荒田村と塩屋村(谷山)があった。

明治44年、西田村から常盤町が分かれ、また、「上尾畔」「尾畔」「稻荷免」「住吉」「上添」「上水流」という6つの字(あざ)は薬師町に編入された。この年「西田村」も「西田町」になったが、西田町になったのは「高崎」「地貫」「七つ枝」「八つ枝」の4つの字であった。

西田橋から水上坂を通過して横井への道は、江戸時代に参勤交代で藩主が通る道であり、ほかの藩から鹿児島入りするときの大切な道になっていた。それでこの道を「御成街道」とも呼び、西田橋の東のたもとには番所もつくられていた。また、道の両側に溝があり、今の西田町から常盤町に入るところに「丁門」(チョモン)と呼ばれる門があった。

このように西田町は、城下町通して時代と共に息づいてきた古い歴史の町でもある。

大正・昭和の西田町は、北側は現在の薬師町の一部と南側は黒田通りまでの区域であったが、現在の西田一丁目が昭和46年1月1日に誕生し、昭和50年7月1日に黒田通りの南から旧西鹿児島駅西口あたりの武町の一部が西田二丁目に編入され、現在の西田一丁目、西田二丁目、西田三丁目の形ができた。

○ 常盤

明治22年に鹿児島市が生まれたとき、このあたりは「西田村」の一部になっていた。明治44年の鹿児島市会（今の市議会）で、西田村の中の山手の「一の迫」「二の迫」「三の迫」「新迫」「楠迫」「枯木迫」「水上平」「田平」「常盤谷」「常盤」を一つにまとめて「常盤町」にすることが決まった。市会で決めた後、県の許可を受けて、その年の10月1日から「常盤町」と呼ぶようになった。

1867年、島津家20代の藩主綱貴（犬幻公）は、枯木迫に別館を建てた。そして「常盤御殿」と名づけた。このことから、このあたりを「常盤谷」と呼ぶようになり、やがて「常盤町」の名前のもとになった。

藩政時代の水上坂には、休み茶屋があり、藩主の参勤交代の時はもちろん、ここを通る一般の人々もここで休み、再会を喜び合ったり別れを惜しんだりしたところである。

水上坂は、今も変わらないかなり急な坂道であるが、藩政時代は主要な道路で賑わった所である。

この坂の下の方に冷たい水の湧きでる泉がある。今でも水神様とよんでいる。大名行列が通る街道であるが、城を出たあと、殿様はお飯屋（渡辺殿）や江田どんの屋敷（水神様の下方）で一泊して旅装束に着替え、お供の家来衆は水上坂を上り切った所で休息野宿し、殿を待って次の日出発したそうである。

○ 薬師

明治22年4月（1889年）の鹿児島市制実施にともなって「薬師馬場町」になり、明治32年1月9日（1899年）の町名改正により「薬師町」と改名された。また、明治44年9月22日に鹿児島郡西田村の一部を合併して現在にいたっている。

この町名については、故池田米男氏の記録に、「おかしは島津家の別殿の所在地で薬草苑があり、この苑内に薬師如来像が祭ってあった。今も薬師様奉妃の小堂が町内にあり、薬師町の町名はこれによる。」とするされている。したがってこのことから、薬師の町名は、この薬師様からおこったものと思われる。

薬師町の地域は、南は西田二・三丁目から北は原良町の間であり、また、東は鷹師二丁目から西は尾畔山の麓まで広がっている。また、郷土史「鹿児島のおいたち」は明治22年の市政施行のころのありさまを「西田方面では西田本通りにそうて山麓の常盤町まで街村的に家があった。また鷹師・原良・薬師町は広い田地が広がるだけで、西田町から玉里邸、玉江橋あたりまでは目をさえぎる一軒の農家も

なかった。」とされることから、当時は大部分が田畑であったことが分かる。

※令和5年6月16日に城西公園内の薬師堂は老朽化のため解体した。そして、薬師如来像は城西公民館近くにある真言宗御室派金竜山大歓寺に転居された。

※薬師町は、昭和37年11月、鹿児島市行政区画変更に伴い、薬師町内区域の一区、二区、三区の理事27名で協議した結果、三町内会に分割することに決定した。各町内会は昭和38年4月から発足し、次の通りそれぞれ名称を変更した。

- 一区 薬師一丁目（町内会）
- 二区 薬師二丁目（町内会）
- 三区 城西一丁目（町内会）

○鷹師

この町は薬師町と同じく、明治32年1月9日の町名改正により「鷹師馬場」を「鷹師町」と改名された。この地の古老の話では、このあたりは江戸時代、50石から100石くらいの禄をもらっていた「鷹師匠」が住んでいたから「鷹師町」の名が生まれたといわれ、また昔この付近は伝統的に獄丁（監察）警官が多いところだったそうである。

また、別の説によると、「この土地は高いところであるが、甲突川の水が氾濫するとこのあたりに高州ができた。この高州が鷹師になまったのだ」という。町の名称の生まれた理由に二つの説がある。一つはそこに住んでいた人々の職業から生まれたものと、もう一つは土地の形から生まれたものであるが、いずれが正説かは不明である。

江戸時代後期の地図で見ると地方の郷士でお城勤めになった武士たちが住んでいたようである。

※表紙の地図は、幕末激動の時代を迎えようとしている頃の西田地区である。（西田校区郷土史誌より転載したものである。）

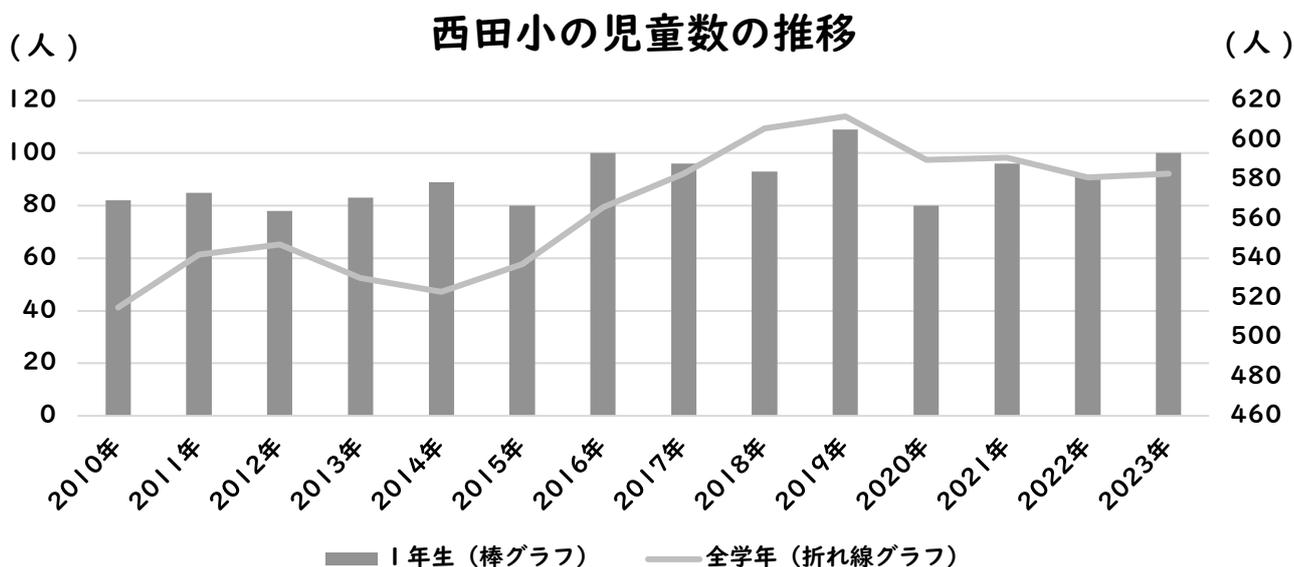
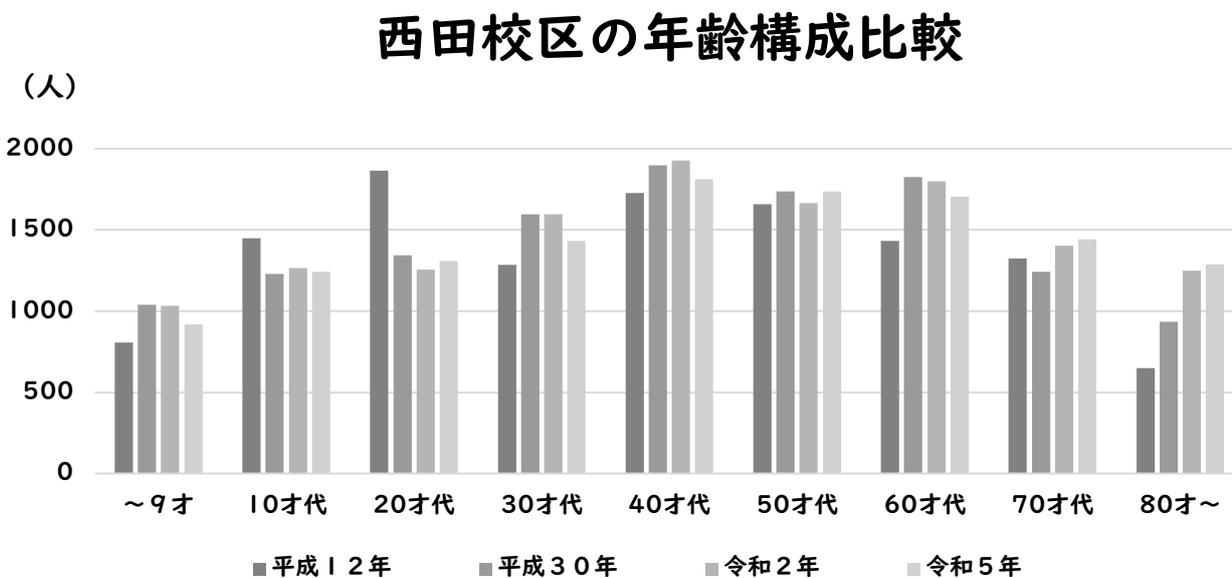
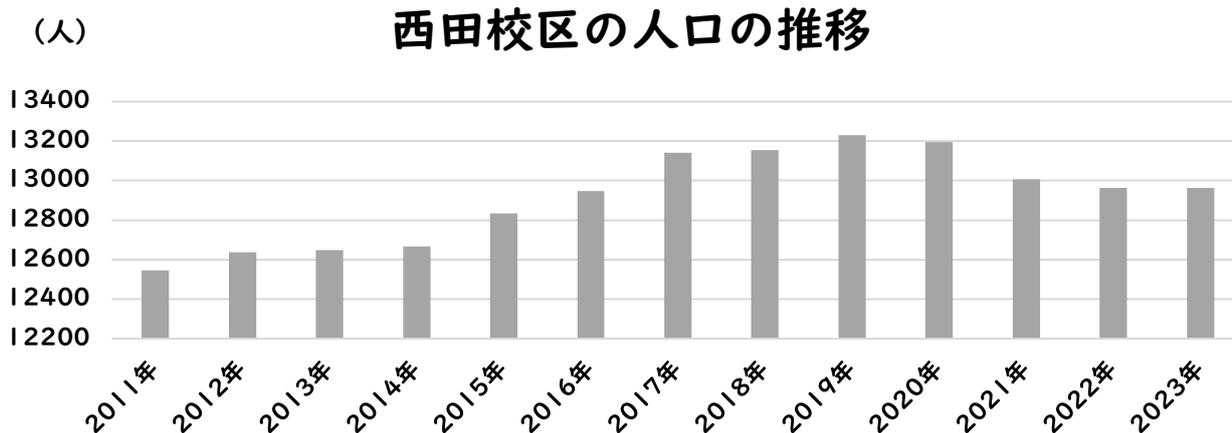
【補足説明】

*現在の地図と比べるために、町名や施設等を書き入れた。

*幕末の頃の通りや家並みの様子を知ることができる。

*表紙の地図は、旧薩摩藩御城下地図をもとに作成された薩摩城下絵図散歩を編集したものである。

(4) 校区人口の推移



4 各部の現状と課題

1 総務広報部会

【現状】

- 西田校区まちづくり協議会の広報誌「にしだだより」を年3回、各戸（約4000枚）に配布している。
- 「にしだだより」を中心に、Facebookとチェストブログに記事を定期的に投稿している。

【課題】

- 各部会の活動状況や校区の状況を知らせるため、西田校区まちづくり協議会の広報誌「にしだだより」を発行し、さらにはFacebookとチェストブログへ定期的に投稿しているが、今後は、より多くの校区民の理解や関心が深められるよう、記事内容を検討する必要がある。
- 総務広報部会として、事務局との連携をより一層深めていく必要がある。

2 環境安心部会

【現状】

- 子供たちの見守り、不審者対策のため2回（秋季・冬季）校区内の公園10カ所の夜間パトロールを2班に分かれて実施している。
- 大規模災害時の避難者による自主的な避難所運営の訓練実施に向け、部運営委員で検討した結果、年度計画を立案し段階的にできる内容から支援組織の指導の下実施予定である。
- 生ゴミ、カラス、猫対策として、ゴミステーションの立哨活動を各町の設定日に実施している。
- のぼり旗の設置や掲示板のポスター掲示、暴力追放運動等により、所轄西警察署と連携し、犯罪予防環境づくりに取り組んでいる。
- 朝のあいさつ・声かけ運動を、青少年育成部会と連携して、毎月第3金曜日に実施している。
- 西田校区セーフコミュニティへの取り組みの一環として、校区内の自転車利用者に対し、転倒時の頭部への被害防止のため、ヘルメット着用を呼び掛ける。

【課題】

- コロナ禍の3年間は、公園で遊ぶ子供たちが少なく、幸い事故・トラブル等の報告はされていないが、今後は子供たちも増えるとともに不審者の出現が想定されることから、これまでと視点を変えたパトロールを実施する必要がある。
- 城西消防分団の定員が不足しているので、色々な機会をとらえて募集への協力が必要である。
- 避難所までの誘導體制（自主防災組織）が各町内会で確立されていないことから運営所での訓練リーダーに各町内会長がなった場合、誘導

体制が脆弱になることが問題である。

○防犯灯を民間地内に設置している箇所が多数あり、家の建て替え、売地等による支障移設が増えることが予想される。

○交通事故防止活動の効果の有無について確認する機会がないので、ヘルメット着用や安全運転等の聞き取り調査を行う場を検討する。

○ゴミ出しマナーについての周知徹底を図る必要がある。

3 社会体育部会

【現状】

○コロナ感染拡大防止の観点から3年間中止になっているが、毎年10月に実施している校区民大運動会は計画している。

○12月に健康について考えるための講話や軽い体操等をする健康講話を実施している。

【課題】

○時間短縮は成功した感があるが、そのための競技数の削減に伴う競技選別の問題と短時間で多くの参加ができる競技の考案が必要。実施準備でも負担を減らすために寄付金集めを止める。

○体力測定は困難との結論が出て健康講話を実施しているが、参加者の増加のため早い時期からのPRや声掛けを実施したい。

4 地域福祉部会

【現状】

○子育ての情報交換の場として、毎月第2火曜日（年10回）に、校区社会福祉協議会と共催で、「子育てサロン」を城西福祉館で開催する。多くの家族が参加できるように努めていく。

○6月に、「ふれあい交流大会」を校区社会福祉協議会と共催で実施し、ゲームや運動等を通して、高齢者の健康増進や交流を図る。また高齢者の参加促進に努める。

○7月に、「西田校区の地域福祉について語る会」を、校区社会福祉協議会と共催で開催している。校区の各種団体の長にも出席を依頼し、地域福祉の課題から設定したテーマについて語り合い、地域福祉の推進に努める。

○身近な家族等への介護の仕方について、実技体験や介護予防等の講習会を、校区社会福祉協議会と連携し、8月に実施する。（各町持ち回りで実施する。）

○地域福祉に係る事業の活動状況・組織・活動予定等、地域のまちづくりの様子を地域住民に知らせるために、「にしだのひろば」を年2回（6月・3月）に発行する。

○各町内会で開催する「敬老会」に、校区社会福祉協議会役員や民生委員・児童委員が参加し、支援する。

【課題】

- 第1期については、コロナの影響で、一部行事の中止、参加人員の制限等があったが、おおよその行事は実施できた。ただ、高齢化が進む中で、ニーズは高まっていると思われるが各行事への参加者は減少気味である。町内会や高齢者クラブとの一層の連携を図り、ニーズの把握に努め、行事内容に反映できるよう努め、参加者の増加を図る必要がある。
- 子育てサロンは、令和5年に設立20周年を迎えるなど順調に推移してきているが、まだ認知度が低いと思われるので、今後ともSNS等でサロンの広報等に努める必要がある。
- 元気で老後を過ごす取組みとして、社会参加の重要性が言われているので、「ふれあい交流大会」や「地域の福祉を語る会」、「介護講習会」については、アンケートを実施しているが、これらを基に内容の充実を図る必要がある。
- 地域福祉に関する実施事業についての認知度はまだまだ低いと思われるので、広報誌「にしだのひろば」の充実（年2回発行、A3両面印刷 内容：初回は年間行事の紹介、最終は実施事業の状況、及び福祉事業所の紹介等）を図っていく。また、市社会福祉協議会のHPに広報誌を掲載し、随時の閲覧ができるようにしている。
- 各町内会の敬老会開催については、各主催者のニーズの把握に努め、支援の内容について把握する必要がある。

5 青少年育成部会

【現状】

- 青少年健全育成大会については、コロナ禍のため、令和2年度以降は中止している。
- 「朝のあいさつ・声かけ運動」を、毎月第3金曜日の7：30～8：00を中心に、関係団体や有志で実施している。
- 街頭補導・環境点検を、西警察署少年補導員と連携し、夏・冬休みの時期に実施している。
- コロナ禍のため、セゴドンのエンコのほか、当部会の構成団体の行事の多くが中止される中、開催された行事等を通して、子どもの自主・自律の支援に努めている。

【課題】

- 青少年健全育成大会についてはコロナ禍を機に、目的・効果などを検証し、その在り方を含め見直しが必要である。
- 「朝のあいさつ・声かけ運動」については、校区の伝統的な取組として定着しているが、関係団体等における年度ごとの着実な引継ぎが重要である。
- 補導に関する警察関係者、小中学校関係者との連携や情報共有を図る場が必要である。
- 引き続き、校区あいご会や町内会等との連携を通して、地域ぐるみで青少年を育てる気風の醸成について工夫する必要がある。

6 文化部

【現状】

- 成人学級・女性学級とも、学級長・役員の努力により、諸講座の企画・運営がなされている。
- 郷土史学習会は、テーマの設定をはじめ、講師の依頼かれこれ、思うように進めていない。
- 校区文化祭は、コロナの終息状況によるところが大きいですが、今後の動向を見ずえて、無理のないかたちで進めていきたい。

【課題】

- 成人学級・女性学級とも新しい企画・新しい流れをさぐり、さらに魅力の感じられる学級活動を計画することで、学級生の確保に努める必要がある。
- 歴史学習に変わる、新しい講座を考えていくために、多くの方の参画を得ること。

5 第1期西田校区まちづくりプランの振り返り等

- 評価 A：よくできた B：概ねできた
 C：コロナに関係なくできなかつた（しなかつた）
 X：コロナの感染拡大によりできなかつた（しなかつた）

No	事業名	部会	振り返り	評価
1	広報誌「にしだだより」の発行	総務	第19号まで定期的に発行した。	A
2	ホームページの開設	広報部会	Facebookは平成30年（2018年）3月22日に開設し、チェストブログには令和2年（2020年）4月5日に「第8号」を初めて投稿した。	B
3	まちづくり協議会の運営		第2期では、事務局への協力・連携をより深めていきたい。	C
4	防犯パトロール（毎月・年末等）	環境	公園パトロール年3回の計画のうち、秋季と冬季の2回は実施した。	B
5	校区防火・防災訓練	安心部会	各町内会においてそれぞれできる範囲で実施している。	B
6	避難所訓練		R5年度第4四半期の実施に向けて、訓練を指導してもらえ関係機関と手続き調整中である。	B
7	環境美化活動		各町町内会で自主的・積極的には取り組んでいる。	A
8	「犯罪予防環境」づくり		のぼり旗の設置、公民館等へのポスター掲示により犯罪予防を呼び掛けた。	B

9	交通事故防止運動	環境安心部会	<p>① R4年10月に高齢者向け交通安全教室を実施した。</p> <p>② R5年8月に校区内のストア3店舗駐車場において、自転車利用者に対して事故防止のためヘルメット着用の呼びかけを実施した。</p>	B
10	校区民大運動会	社会体育部会	<p>地域の企業商店の多くの協力のもと、運動会くじの実施により参加者の増加がみられた。(1000名程)新競技を今回は2種取り入れた。来年も予定。競技数が少ないから良いと言う人と物足りなさを感じる人と両方の意見がある。準備片付けの少なさは好評だが、西田小学校の運動会の片付けに少しでも協力できる形にしたい。打ち合わせ不足の点多々あったが参加者が楽しそうに帰っていく姿を見ると成功だったのかなと思う。4年振りの運動会を成功させようと大きなプレッシャーだった。</p>	A
11	健康講話		<p>多くのニーズに答え、共通の話題・健康づくりに貢献できた。人集めが課題である。</p>	B
12	「子育てサロン」(校区社会福祉協議会への後援)	地域福祉部会	<p>R1年度は計画通り10回開催したが、R2～R4年度はコロナの感染防止の観点から中止の月もあり、R2・R3が6回、R4は9回開催した。R5は計画通り10回の開催予定であり、11月は子育てサロン20周年行事として開催する。</p>	A
13	「ふれあい交流大会」(校区社会福祉協議会との共催)		<p>R1年度は6月に開催した。R2・R3年度はコロナの感染防止の観点から中止とし、R4年度は室内競技から屋外競技(グラウンドゴルフ)に変更し10月に開催した。R5年度は通常通り6月に開催した。</p>	AX
14	「西田校区の地域福祉について語る会」(校区社会福祉協議会との共催)		<p>R1～R5年度ともに7月に開催した。ただし、R2～R4年度はコロナの感染防止の観点から人数を制限し開催した。</p>	A
15	介護講習会(校区社会福祉協議会への後援)		<p>R1年度は8月に開催したが、R2～R4年度はコロナの感染防止の観点から中止とした。R5年度は実技を中止し講演のみで9月に開催した。</p>	AX

16	「にしだのひろば」発行(校区社会福祉協議会への後援)	地域福祉部会	R1・R2年度は3月に発行した。R3年度から6月と3月の年2回の発行とした。(なお、R5年度の3月発行分は「子育て20周年」の特集号となる。)	A
17	青少年健全育成大会	青少年育成部会	R1年度のみ実施した。 R2年度以降はコロナ禍のため中止した。	AX
18	朝のあいさつ・声かけ運動		コロナ禍への対応については各町・協力団体で判断し実施した。	B
19	夜間・街頭補導		校区内公園、中央駅周辺を実施した。	A
20	環境点検・調査		校区内公園、中央駅周辺を実施した。	A
21	セゴドンのエンコ		R1、R5年度のみ実施した。 R2～4年度はコロナ禍のため中止した。	AX
22	校区あいご会、西田小PTA、西田小おやじの会等との連携		あいご健康教室：R1年度のみ実施した。 R2年度以降はコロナ禍のため中止した。	AX
			つばめブロック大会：R1、5年度のみ実施した。R2～4年度はコロナ禍のため中止した。	AX
			ファミリー歩こう会：R1年度のみ実施した。R2年度以降はコロナ禍のため中止した。	AX
			あいごかるた大会：R1年度のみ実施した。R2年度以降はコロナ禍のため中止した。	AX
			あいごスポーツ交歓会：R1年度のみ実施した。R2年度以降はコロナ禍のため中止した。	AX
		夏休みラジオ体操：R1年度は実施し、R2～4年度はコロナ禍のため中止した。R5年度は、各町判断により実施した。	AX	
		竹取・門松づくり：鬼火たきの終了に伴い竹取もR1年度で終了。西田小正門前の門松づくりは手法を変えて実施した。	AC	
		鬼火たき：R1年度で終了した。(周辺への防火的配慮等)	AC	
		西田っ子まつり(旧西田小バザー)：R1年度のみ従来方式で実施した。R2～4年度はコロナ禍のため中止した。R5年度は「西田っ子まつり」として内容を再編し、開催した。	AX	

23	町内会との連携	青少年育成部会	十五夜綱引き：R1、5年度のみ実施した。R2～4年度はコロナ禍のため中止した。	AX
			夏祭り（六月灯）・子どもみこし：R1年度のみ実施した。R2～4年度はコロナ禍のため中止した。R5年度は、各町判断により実施・中止した。	AX
24	自彊学舎との連携		妙円寺詣り：自彊学舎との連携については、引き続き検討していく。	B
			青少年育成活動：自彊学舎との連携については、引き続き検討していく。	B
25	校区成人学級	文化部会	<p>回数は規定を順守して</p> <p>1. 内容は学級生にアンケートを取って最大限提案を取り入れるよう努力して運営を行ってきた。</p> <p>2. 学級生の募集は毎年各町内会の協力を得て回覧を回してもらっていた。</p> <p>3. 令和3年から各町の老人会組織にも同じ様に募集回覧板を回してもらった。</p>	A
26	校区女性学級		<p>年間計画は学級生の意見を参考に役員で検討し決定。募集は町の回覧、各町の掲示板、更に校区の主要箇所（銀行等）にポスター掲示をお願い。</p> <p>【ポイント】</p> <p>口コミが一番。</p> <p>学級生にお友達声掛けをお願い。</p> <p>申込日を設定し、校区公民館で受付。</p>	A
27	郷土史学習会 （もっと知ろうよ郷土の歴史）		西田校区まちづくり協議会・文化部発足時から毎年実施。但し新型コロナ蔓延拡大期のR2～4年は休会せざるを得なかった。	BX
28	校区文化祭		<p>1. 文化部の顔として各町内会の持ち味を最大限発揮してもらおう一大イベント行事。</p> <p>2. 各町内会でコミュニケーションを取り合う同好会（老人会活動を含む）の延長線上でその成果を皆さん（校区文化祭で）の前で披露できる場がある事で切磋琢磨する基盤があることはありがたい。</p>	BX

6 西田校区まちづくりの目標

□まちづくりの目標（スローガン）

「みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち 西田」

- 1 長い歴史を持ち、多くの貴重な史跡も点在し、教育環境にも恵まれた「西田のまち」を住民が協力して後世につなげていく。
- 2 みんなが協力して創るまちづくりを基本に、伝統行事や社会活動（防犯・防災、環境美化、福祉活動）、生活を豊かにする活動（健康、趣味、文化）等を充実させ、さらに住みよいまちづくりをめざす。
- 3 お互い助け合い、支え合い、心豊かなまち、安心安全なまち西田をめざす。

□課題への取組

- 1 あらゆる機会をとらえて住民ニーズの把握に努めるとともに、情報発信の場として、広報誌の発行や Facebook やチェストブログを定期的に更新する。
- 2 子どもや高齢者の交通安全・事故防止、防犯・防災への意識啓発や訓練等に取り組む。
- 3 ゴミステーション美化活動、ゴミ分別などの環境問題に取り組む。
- 4 住民の健康づくり等のイベントに取り組む。
- 5 「小・中学生への声かけ」・「子育て家庭への支援」・「高齢者の生きがいづくり」などのふれあいや手助け活動に取り組む。
- 6 高齢者や障がいのある人、災害弱者等の支援対策に取り組む。
- 7 学校・PTA・あいご会・地域・行政がお互い協力して交流を深める。
- 8 さまざまな知識や技術を学ぶ場を通して、社会教育講座等の開設に取り組む。

7 活動の体系表

	基本方針	活動の内容	主な事業名	
【まちづくりの目標】 みんなが協力 温もりと安心の 文化薫るまち 西田	総務広報部会	地域の課題、住民のニーズを把握して、対応策を検討し、プランを策定するとともに、協議会活動全般の広報を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○協議会の活動状況を知らせる広報活動 ○まちづくり協議会の総括 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「にしだより」の発行 ・Facebookとチェストブログの更新 ・まちづくり協議会の運営
	環境安心部会	命と環境を大切に、住民の「目線」で住みよい環境づくりと治安維持の両面から課題を探し、対策を提案し、かつ具体化を行い、「安心・安全」な地域環境づくりを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ○防犯・防災活動 ○環境美化活動 ○交通事故防止活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロール ・校区防火・防災訓練 ・「犯罪予防環境」づくり ・避難所訓練 ・ゴミステーションのマナー啓発・立哨活動 ・交通事故防止運動(中学生以下及び高齢者等)
	社会体育部会	住民の健康づくりを支援するとともに、住民ごぞって楽しむ機会を作るなどして、融和と親睦を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○校区民が集い、地域の親睦を図る活動 ○健康の保持・増進を図る活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区民大運動会 ・健康講話
	地域福祉部会	住民が共に助け合い協力し、高齢者・障がいのある人・年少者等を大事にし、潤いと温もりのある地域づくりに努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○広報活動 ○高齢者・障がいのある人・年少者等とのふれあい活動 ○福祉活動に関する研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「にしだのひろば」発行 ・子育てサロン ・ふれあい交流大会 ・介護講習会 ・西田校区の地域福祉について語る会
	青少年育成部会	心豊かで健やかな青少年を育てるために、各種団体と連携し、地域行事やあいご会活動などを通して、地域ぐるみで青少年を育てる気風の醸成や環境浄化に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成活動(子どもの自主・自律支援) ○郷土の文化・歴史学習活動 ○環境点検活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ・声かけ運動 ・校区あいご会等との連携 ・セゴドンのエンコ ・町内会との連携 ・自彊学舎との連携 ・街頭補導 ・環境点検
	文化部会	郷土の豊かな歴史への理解を深めるとともに、地域文化の振興に努め、住民が共に楽しく学ぶ生涯学習を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習支援活動 ○学習成果の発表活動 ○地域の歴史学習活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・校区成人学級 ・校区女性学級 ・校区文化祭 ・郷土史学習会

8 第2期西田校区まちづくりプラン

No	事業名	部会	事業内容	事業効果	新規継続	関連団体
1	広報誌「にしだだより」の発行	総務広報部会	年3回発行する。町内会に依頼し、各戸に配布する。 (約4千枚)	各部会の活動や校区の状況に関心を持つことで協議会の運営への理解を深めるとともに、校区民の地域づくりへの参加促進が図られる。	継続	
2	ホームページの更新		掲載内容や更新の頻度を検討する。	ネットを活用することによって、若い世代へのアピールや随時の情報提供が期待できる。	継続	
3	まちづくり協議会の運営		まちづくり協議会総会や役員会を開催する。 ※2025年(令和7年)12月8日西田小創立150周年を迎える。	まちづくり協議会の運営を総括することによって、各部会や関係団体との連携・調整を図ることができる。	継続	
4	① 防犯パトロール(毎月・年末等) ② 校区内公園パトロール(年2回)	環境安心部会	① 各町内会で、毎月又は年末等に、見回り活動通して防犯パトロールを行う。 ② 校区内の公園10カ所の防犯パトロールを行う。(地域安全モニター等)	校区内並びに町内に発生する犯罪等を防ぐとともに、自己防衛の機運が高まる。	継続	警察
5	防火・防災訓練		地域の消防分団等と協力し、消火・放水訓練等を行う。(校区・各町内会)	防火・防災の知識を得るとともに、災害時の協力体制を確認できる。	継続	消防

6	避難所訓練	環境安心部会	大規模災害時避難所及び避難方法等について、関係機関と調整し、訓練を実施する。	校区内指定避難所への誘導等について問題点が確認できる。広域の災害に対応する避難行動の備えができる。	継続	警察・消防・防災士会
7	環境美化活動		生ゴミ・カラス・猫対策を校区共有課題として、ゴミの分別や指定日の周知を図るチラシを配布するとともに、ゴミステーションの立哨活動を行う。(2か月毎に実施)	ゴミ出しマナーについて周知を図り、ゴミステーションの衛生管理ができ、きれいな町づくりにつながる。	継続	衛生連合会
8	「犯罪予防環境」づくり		犯罪予防環境づくりのため、西警察署と連携し、のぼり旗設置や掲示板のポスター掲示、暴力追放運動を行う。	犯罪が起こらない環境づくりを行うことにより、安心・安全なまちづくりが期待できる。	継続	警察
9	交通事故防止運動		中学生以下及び高齢者の交通事故減少に向けて、自転車の安全で適正な利用を中心に啓発活動を実施する。	交通事故防止の啓発活動を実施することによって、交通事故防止の意識を高めるとともに、交通事故の減少が期待できる。	継続	警察
10	校区民大運動会	社会体育部会	各町内の年少者から高齢者までが参加し、競技を通して運動を楽しむ。	校区民が一堂に会して、様々な競技を楽しむことを通して、町内会同士、町民同士の親睦を図ることができ、運動会くじの実施	継続	校区内店舗・企業・

		社会 体育部 会		により校区内の活性化 につながる。		病院
11	健康講話		医師や保健師 など医療に携 わる方を講師 に招き、健康 に関する講演 会を開催する。	校区民の健康づくりに 関する意識を高めるこ とで、健康なまちづく りが期待できる。	継続	
12	「子育て サロン」 (校区社 会福祉協 議会への 後援)	地域 福祉部 会	「子育て」の 支援、情報交 換の場とし て、毎月第2 火曜日に(年 10回)城西福 祉館で開催。 親子体操やク リスマス会、 人形劇など親 子で楽しむ。	子育てやしつけについ ての悩みを抱える母親 等に対して、相談や情 報交換の場を設定する ことにより、子育てし やすい環境づくりがで きる。	継続	校区社 会福祉 協議会
13	「ふれあ い交流大 会」(校区 社会福祉 協議会と の共催)		ゲームや健康 体操等を通じ て、中学生や 高齢者の交流 を図る。(6月 実施)	高齢者の健康・体力の 維持や生きがいづくり ができる。	継続	
14	「西田校 区の地域 福祉につ いて語る 会」(校区 社会福祉 協議会と の共催)		校区の各種団 体の長に出席 を依頼し、地 域の課題から 設定したテー マについて語 り合い、福祉 の推進に努め る。(7月実施)	地域福祉に関する課題 が明確になるとともに 、講話・協議等を通し て課題解決に向けての 方策を得て校区一体と なった取り組みがで きる。	継続	
15	介護講習 会(校区 社会福祉 協議会へ の後援)		身近な家族等 への介護の仕 方について実 技体験等を通 じた講習会を 市の福祉協議 会と連携し実 施する。(8月 実施)	地域住民の身近な家族 等の介護に係る知識、 実践力を高めること で、不安の軽減を図る ことができる。	継続	

16	「にしだのひろば」発行（校区社会福祉協議会への後援）	地域福祉部会	年2回（6月と3月）発行。地域福祉に係る事業の活動状況、組織、活動予定等地域の様子を地域住民に広く知らせる。	社会福祉に関する情報を共有するとともに、地域住民の社会福祉への理解と協力を得ることができる。（赤い羽根共同募金の助成を受けて3800部発行）	継続	校区社会福祉協議会
17	朝のあいさつ・声かけ運動	青少年育成部会	登校時児童生徒への声かけ。毎月第3金曜日、原則7:30~8:00に町内会青少年部（あいご部）をはじめ、関係団体や有志が、朝のあいさつや声かけをする。	地域で青少年を育てる機運を高めることができる。（地域の大人と子どもの声掛けにより地域の連帯意識が高まるとともに、あいさつが飛び交う元気なまちづくりが期待できる。）	継続	青少年健全育成実行委員会
18	街頭補導・環境点検（旧夜間・街頭補導）		西警察署補導員等と連携し夏休み等を中心に実施する。	補導や点検を通して、地域における子供たちの生活上の課題把握や改善指導等が図られるとともに、警察関係者、小中学校関係者との連携・情報の共有が期待できる。	継続	
19	セゴドンのエンコ		市の年中行事。地域の子供と大人が一体となって西田小から南洲神社まで約8kmの道程をウォーキングする。	西郷隆盛ゆかりの地を歩くことを通して、郷土の歴史や文化、また集団行動の規範を学ぶことができる。	継続	
20	校区あいご会、西田小PTA、西田		あいごクイズ大会表彰式（旧あいご健康教室）	校区あいご会等との連携により、各行事を通して、子どもの自主性を育て自律を促すと	継続	

<p>小のおやじと の会等 の連携</p>	<p>青少年育成部会</p>	<p>西田小学校体育館で、事前実施したクイズ大会と新年会などの紹介を行う。</p>	<p>もに、地域への愛着を深めることが期待できる。</p>	<p>校区あいご会・西田小PTA・おやじの会等</p>
	<p>つばめブロック大会 周辺10小学校区の子ども会が、活動報告やスポーツ交歓会を行う。(各校区持ち回り：西田小開催は2027年(令和9年)予定)</p>	<p>継続</p>		
	<p>あいごなわとび大会(旧あいごスポーツ交歓会) 西田小校庭でなわとび大会を実施する。</p>	<p>継続</p>		
	<p>夏休みラジオ体操 町内会(単位あいご会等)の運営で、早朝ラジオ体操を実施する。</p>	<p>継続</p>		
	<p>門松づくり 西田小PTA・おやじの会が西田小学校正門前に門松を設置する。</p>	<p>継続</p>		

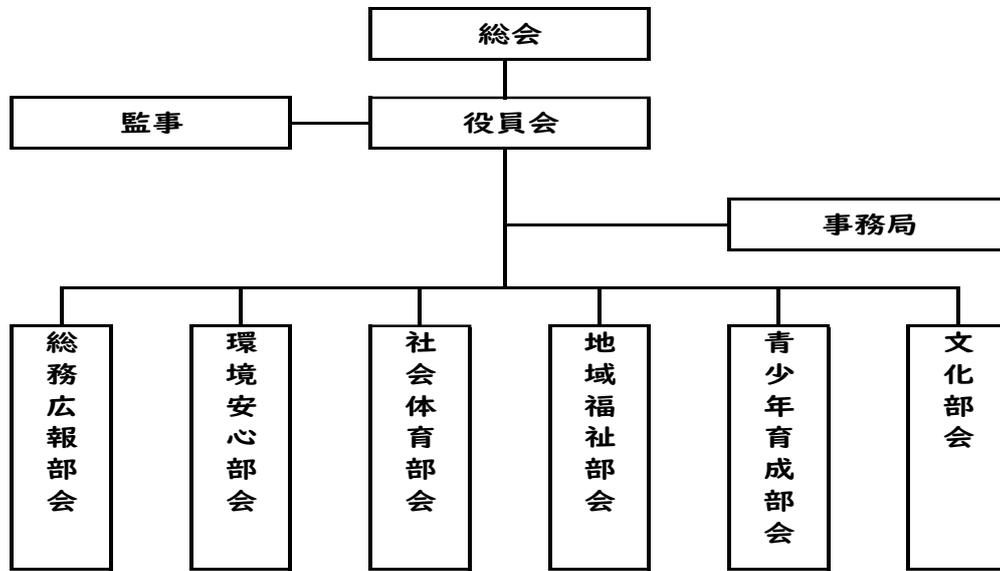
	校区あいご会、西田小P A、西小の連携	青少年育成部会	西田っ子まつり（旧西田小バザー） 西田小P T A・校区あいご会・おやじの会等から構成する実行委員会の主催により、西田小の体育館や中庭を使用し、子ども遊び・飲食・制服販売等のコーナーを設け、バザーを実施する。	実行委員会の各構成団体の協力・連携により、体育館でのこども役員会の運営によるゲーム・体験コーナー、制服販売等や中庭での飲食販売等を通してまつり的なぎわいを創出し、参加者が楽しく交流することが地域への愛着を深めることが期待できる。	継続	校区あいご会・西田小P T A・おやじの会等
21	町内会との連携		十五夜綱引き 常盤・西田・薬師2丁目の三町合同で、綱引きを行う伝統行事。	町内会等との連携により、各行事を通して、子どもの自主性を育て自律を促すとともに、地域への愛着を深めることが期待できる。	継続	町内会
			夏祭り（六月灯）・子どもみこし 町内会を中心に、夏に行われる伝統行事。（実施については、町内会毎に判断。）		継続	
22	自彊学舎との連携		妙円寺詣り 鹿児島島の3大行事武者姿で伊集院の妙円寺まで歩く妙円寺詣りや加世田詣り、赤穂義士伝輪読会など伝統文化の継承活動。	明治12年創立以来続く、青少年育成機関である自彊学舎との連携を図り、各行事を通して、子どもの自主性を育て自律を促すとともに、地域への愛着を深めることが期待できる。	継続	自彊学舎

		青少年育成部会	青少年育成活動 毎月1回親子で共通体験する親子チャレンジ塾。自然体験、農業体験、工芸体験など体験を通して学ぶ活動。	明治12年創立以来続く、青少年育成機関である自彊学舎との連携を図り、各行事を通して、子どもの自主性を育て自律を促すととも地域への愛着を深めることが期待できる。	継続	自彊学舎
23	校区成人学級	文化部会	地域内の男女成人を対象に役職員を中心に規定(回数)を遵守して生涯学習の目的を逸脱しないよう学級生の意見を尊重して様々な講座を企画運営。	1. 人生100年時代を明るく前向きに、何時までも教養溢れる壮・老年であるべく学習講座にしたい。 2. 一般的な教養や技能を習得すると共に地域貢献ができる基盤づくりに徹する。 3. 時代の変化に伴い学級生の減少が続いており、成人と女性学級の枠を取り払い、合同統一して運営ができないかを検討すべきではないか、と考えている。	継続	
24	校区女性学級		サークル活動が活発のため、主体となる全体講座への関心を高めるために魅力ある内容の企画が課題。	1. 人生100年時代を明るく前向きに、何時までも教養溢れる壮・老年であるべく学習講座にしたい。 2. 一般的な教養や技能を習得すると共に地域貢献ができる基盤づくりに徹する。 3. 合同統一は長い目で見ていきたい。女性目線での学習内容もあり、成人学級への興味を持ちつつお互いの会員増加を考えていきたい。	継続	

25	郷土史学 習会 (もつと 知ろうよ 郷土の歴 史)	文化 部 会	<p>1. スタート時の目標は歴史を残す西田校区の史跡探求(街歩き)を中心に開催。</p> <p>2. また、歴史の専門家を招いて座学の勉強会も開催。</p> <p>3. 今後は西田校区の中に脈々と受け継がれている智慧(稼業=100年、三代続く専門家)を掘り起こし=探し出して町民に広報していきたい。</p> <p>4. 薬師町と鷹師町の町名の由来掘り起こしをやってみよう。</p>	<p>1. 西田や常盤は幕末まで、参勤交代の道として重要な役目の街道として知られていた。その内容を掘り起こして日の目を当てたい。</p> <p>2. 参勤交代の模様をジオラマとして再現できないかを研究・検討したい。そして、西田小学校に寄贈し、子供達に歴史資料として活用してもらいたい。</p> <p>3. 地域起こしのキッカケにならないか研究(例えば、参勤交代パンや参勤交代お菓子、参勤交代保存食等)してみたい。</p> <p>4. 今までの勉強会も継続していく。</p>	継続	
26	校区文化 祭		<p>1. 文化部の顔として各町内会の持ち味を最大限発揮してもらう一大イベント行事。</p> <p>2. 各町内会でコミュニケーションを取り合う同好会(老人会活動を含</p>	<p>1. 毎年開催したい。各町内会の同好会や老人会、幼稚園、小学校、中学校、高校生を巻き込んだ「生きがいや未来」をテーマに、これがあるから住み続ける目標にして笑顔で挨拶できる交流の場にしたい。</p> <p>2. 自分の町には特技や珍しい研究や収集家等がおられると思うので情報を集め</p>	継続 ・ 新規	

		文化 部 会	む)の延長線 上でその成 果を皆さん (校区文化 祭で)の前で 披露できる 場が有る事 で切磋琢磨 する基盤が あることは ありがたい。	年に1回ぐらいのお 披露目会ができれば、 どうかと思う。		
--	--	--------------	--	------------------------------------	--	--

9 第2期西田校区まちづくり協議会の組織体系図



西田校区まちづくり協議会構成団体等

令和6年2月1日現在

No	構成団体等	No	構成団体等	No	構成団体等	No	構成団体等	No	構成団体等
1	常盤町内会	9	鹿児島市立西田小学校	17	西田校区女性学級	25	西田本通り会	33	豊平内科クリニック病院
2	西田文化協会	10	鹿児島市立城西中学校	18	西田小おやじの会	26	城西消防分団	34	園屋 高志 鹿児島大学名誉教授
3	薬師一丁目町内会	11	さみどり幼稚園	19	西田小学校スクールゾーン委員会	27	西田小学校スポーツ推進員	35	医療法人慈恵会土橋病院
4	薬師二丁目町内会	12	西田校区あいご会	20	西田校区児童クラブ運営委員会	28	西田校区スポーツ推進員	36	西田郵便局
5	鷹師町町会	13	校区青少年健全育成実行委員会	21	西田校区安心安全ネットワーク会議	29	鹿児島県立鶴丸高等学校	37	鹿児島西消防署
6	城西一丁目町内会	14	西田小学校PTA	22	西田校区高齢者クラブ連絡協議会	30	津曲学園鹿児島高等学校	38	鹿児島西警察署生活安全課
7	西田校区社会福祉協議会	15	城西中学校西田地域PTA	23	一般財団法人 自彊学舎	31	長寿あんしん相談センター	39	薬師保育園
8	西田地区民生委員児童委員協議会	16	西田校区成人学級	24	ゾウさんのはな通り会	32	福田 賢治 維新ふるさと館 前特別顧問	40	やくし乳児院

西田校区まちづくり協議会 事務局

〒890-0042

鹿児島市薬師二丁目31番1号

(西田校区公民館1F)

TEL・FAX 099-800-6147

メールアドレス nishida@uma.bbiq.jp